

編集後記

今年の研究活動報告では、「東京都市圏PT調査50年の軌跡」をはじめとした6編の研究論文に加えて、当研究所の公募研究であるフェローシップの最終報告として「米国におけるコンプリート・ストリートに関する取り組みの実態と課題」、「フィリピンのマニラ大都市圏における道路・鉄道整備・計画の展開」の2つの海外研究の成果を掲載しました。また、当研究所の研究者がこの一年間に参加した9つの海外学会、更にはIBS自主研究の活動成果についても記載しました。

当研究所では、昨年10月に新代表理事が就任し、それを機に所内体制を刷新することとなりました。都市・交通問題を中心とした社会課題に対し、真摯に、かつ柔軟に対応しうるシンクタンクとして今後も在るべく、引き続き皆様からご指導ご鞭撻を頂きながら研鑽してまいります。

そのような新スタートの思いも込めまして、今号表紙は芽吹く新緑をイメージした色としてみました。本誌「IBS Annual Report 研究活動報告」を含めまして、当研究所の活動全般にわたり、ご意見やご感想などを頂ければ幸いです。

(H. S)

編集委員

- 委員長 牧村和彦（業務執行理事、研究本部企画戦略部長）
委員 萩野保克（業務執行理事、研究本部執行管理部長）
鈴木紀一（研究本部技術営業部長兼東北事務所次長）
杉田 浩（シニアフェロー）
谷貝 等（総務部次長）
國山淳子（研究本部企画室）

IBS Annual Report 研究活動報告 2018

発行日 2018年6月30日
発行責任者 一般財団法人 計量計画研究所
The Institute of Behavioral Sciences
代表理事 岸井 隆幸
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-9
TEL 03-3268-9911 (代表)
印刷所 ヤマノ印刷株式会社
